



彫塑、陶芸の創作と技術 指導

相川 善一郎

(81歳)

現住所

鹿角市

相川氏は、大正12年東京美術学校を卒業、以来今日まで彫塑、陶芸の創作、研究に研鑽を積み、文展、帝展に13回入選のあと、昭和16年以来日本美術展無鑑査となり、その代表作としては神戸市湊川神社蔵の「後醍醐天皇像」のほか、各地に保存されている多くの仏像がある。昭和20年帰郷し、花輪駅前の「声良鶴」、大館駅前の「秋田犬」の銅像などの創作のかたわら、彫刻、陶芸の指導者として、身体障害者に木彫を教授して自立更生の道を与え、また自宅に陶芸教室を開設してその普及と後進の指導育成に努めるなど本県彫塑、陶芸界の振興に大きく貢献した。

一方、花輪史談会を結成して郷土の歴史、文化遺産の顕彰に活躍しているほか、鹿角市文化財保護委員としても文化財の保護、調査に尽力している。



和歌の普及と後進指導

たか 階 ウ メ
高 階 梅 子

(雅号 梅子)

(79歳)

現住所

能代市

高階氏は、若くして和歌の道に入り、60有余年の長きにわたって研鑽を積み、昭和

26年能代短歌会を結成、同人誌「玫瑰」を発刊し、現在まで232号を刊行するととも

に、中央歌誌「林間」、秋田県歌誌「寒流」の同人として活躍しており、歌集「一つの

色」、「遠茜」、「冬の虹」、「北愁」を著わしている。また、短歌教室の主宰、秋田魁新

報読者文芸の選者などとして、後進の指導育成に尽力し、本県歌道の発展に大きく貢

献した。



農村文化の向上と農業の 振興

いの うえ いち ろう
井 上 一 郎

(71歳)

現住所

大曲市

井上氏は、農事のかたわらアマチュア写真家として、農村の伝統行事や農村の移り

変りを記録し、「村の一年」等の写真集を出版するなど、農村文化の紹介と向上に大き

く寄与した。

一方、果樹組合を結成してりんご栽培を普及させるとともに、稲作の共同作業化、

省力化を進めるなど地域農業の体質改善と農業所得の向上を図り、その経営の安定に

尽力したほか、各種農業団体の役員を勤め本県農業の振興に大きく貢献した。



箏曲の普及、指導

あだちよこ
足達千代子

(芸名 足達 清賀)

(69歳)

現住所

秋田市

足達氏は、大正12年箏曲生田流大検校古賀城武氏に師事し、生田流の奥義を修め、

大史導の職格を受け、以来今日まで50余年の長きにわたって研鑽を積むとともに、生

田流清絃会会长として門下生の指導育成に尽力し、秋田県芸術祭の邦楽公演を行うなど箏曲の普及、発展に大きく貢献した。



文化団体の育成

倉田儀一

(65歳)

現住所

秋田市

倉田氏は、昭和39年県書道連盟の設立に参画し、その会長として斯道の発展に尽力

しているほか、県華道連盟顧問、県造形美術家協会会长、県民芸協会会长として、

これら文化団体の指導育成に努めるとともに、県体操協会会长、県レクリエーション協

会会长等の職にあって、本県の体育、レクリエーションの普及と振興にも寄与した。ま

た、美術、短歌、俳句、囲碁、将棋等の普及と後進の指導に尽力するなど、広く本県

文化の発展に大きく貢献した。



民謡の普及、歌手の指導 育成

あさ の やす じ
浅 野 保 二

(芸名 浅野梅若)

(64歳)

現住所

秋田市

浅野氏は、12歳の時から三味線の修業に努め、今日まで芸道一筋に研鑽を積むと

もに、三味線演奏家の養成と民謡歌手の養成に尽力し、数多くの傑出した歌手を育て

あげて民謡秋田の名声を全国に高め、また、各種演奏会を通じて広く民謡の紹介、普

及に努め、その発展に大きく貢献した。



国語、方言の研究と自然 環境の保全

北條忠雄

(63歳)

現住所

秋田市

北條氏は、昭和20年以来秋田師範学校及び秋田大学教授として学術研究と人材の

育成に努め、特に上代国語及び言語地理学の権威者として方言の研究にも尽力し、数

多くの学術論文を著わしているほか、新聞、放送等を通じて各地の歴史や社会生活を

紹介するなど、本県文化の向上に大きく貢献した。

一方、秋田県野鳥の会会长として野鳥の生態調査と保護に努めているほか、秋田県

自然環境保全審議会会長として、本県の自然環境の保全にも寄与している。